

18/4/24 名古屋城跡バリアフリー検討会議
(名古屋市民オンブズマンが概要作成)

傍聴者：車いす 5 台ほか 5 人ほど
市議 10 人ほど

西野所長：司会

河村市長：はじめて入られるかたも なかなか珍しいところ 重要文化財にも
なっている建物
いろいろいうと
土着民 シンボル 行くとつらい思いがある
ある団体 技術の人達の話を知りたい
エレベーターでない場合
文化系の人も
丁寧に説明を
私は福祉関係 丁寧に 車いすの人だけではない
高齢者、小さい人 目が不自由な人
順序が前後したことは申し訳ない
いいアイデアが出たらよい
ご意見があると思うがよろしく

西野所長：小野・片岡・川地・小松・西形・堀越・三浦・磯部・高橋・渡辺・佐野・山田
オブザーバー 斎藤・近藤
名古屋市関係者：河村・堀 場・広沢・渡辺・名古屋城
写真・ビデオはこれまでに

西野：開催趣旨 建築学・建築史学・工学・福祉
知見を活かしたい
木造天守閣の昇降について検討
12 時まで
2 名オブザーバー
1 言ずつ意見を

斎藤：何分ほど 3 分
内部障害 1 級障害 見た目は普通の身体 大変

階段上り下りはきつい 降りるのは怖い
階段は手すり 手すりがないと登れない
多くの障害者 たくさんいる
バリアフリー この時代は最大の価値
人間の幸せや安全 欠かせない価値
名古屋城木造復元 「史実に忠実な復元」強調
この間疑問 市長が障害者説明
実際階段 ならぬで 37 度 きつくて 50 度
利用できる人がどれくらいいるか
「つかまれないから細い手すりを付ける」史実に忠実ではない
地震対策 ダンパー付ける 補強する
史実通りではない
火災対策 どうするのか スプリンクラー 史実通りではない
照明 ろうそく・たいまつではなく電気照明 史実通りではない
河村市長がどうしても現代の技術を利用しないのはありえない
安心・安全 損なわれる
高齢者・障害者が利用する 安心・安全のためのバリアフリー
エレベーターがふさわしい 必然である
A3 資料 保存活用計画 示されている「年齢・障害の有無に関わらず」
エレベーターが付かないようなら言葉を取って欲しい
最近「そーねおおぞね」利用しやすい場所
高齢者 老人給食会 学区ごとに1つ コミセン 小さいために
2 階のところ 階段を上らないと行けない つらい
そーねおおぞね バリアフリーで使える
2 階に上がるのでも苦痛
高齢社会に障害者当然 安心・安全エレベーター 最大限追及して欲しい

近藤：よくする会 私自身エレベーター関心 仲間たち心配
様々な議論 4 人乗り、つかない、11 人乗り
最低でも 11 人のり 上に上がれない
現状名古屋城 地下 1 階からエレベーター 既に行列ができている
車いすだけでなく、家族（子ども・高齢者）列をなしている
中にいってみると、ベビーカー
展望室 警備員にベビーカーを預けてだっこして上にのぼる
エレベーターをつけないとどうなるか想像できる
今より使いにくくなるのはおかしい

これだけのお金が かかる公共事業 安心して使えるように
その次に昔を体験できるか 行政の考えること
障害者差別禁止条約 法 条例
流れのある中で様々な除外規定 法律上の効力が効かない
行政として突き進むのはおかしい
全ての人が使えるように
ベビーカー 障害者もふくまれる
古い建物
昔は排除してきた 差別・偏見があった
差別を残してしまうのではないか
完全に史実に忠実に再現するのは考えられない
VR、ハートフルデー 障害者に対するのは差別だ 強く願います

西野：ありがとう

座長 構成員の互選 ご推薦は

小野：座長は堀越さんはいかが

西野：よろしいか

堀越様に座長になってもらう

堀越：ご指名いただいた

この会議は重要 ハード・ソフト 忌憚のない意見を
今後どうしていくか 一つの機会

西野：議事 座長に一任

堀越：事務局から説明を

名古屋城 蜂谷：A3の資料1

木造が優位が高い

課題を乗り越えることは可能

文化財保護法による「復元」

建築物移動円滑化基準への適合義務に関する規定は適用されない

措置を講じる努力義務は適用される

現在 エレベーター 7階までは階段

市民：賛成・反対

いろんな人から意見 中庸な意見もある

アクセス

体感

サポート

新技術

エレベーターの場所

方針（案）

A案

B案

C案

障害者、新技術

堀越：質問

磯部：だれがどこで検討したのか

当事者はいたのか

名古屋城 蜂谷：今年度検討

VR、ハートフルデー メーカー、学識

障害者は同席していなかった

磯部：当事者参加は必須

案の段階として動いて欲しい

堀越：他は ない

お一人ずつ自由なご意見

小野：資料に関して意見があるか

全般的 資料の基として検討

復元に関しては市の方で方向を決めていく 基本的なスタンス

木造天守を復元するプロセス 豊富な資料が残っている 復元に入った経緯

市としては名古屋の歴史を伝える そうした資料を十分活かした上で復元したいと理解している

現在では障害者・高齢者視点 必要

それらの2つのこと 対立することではなく

名古屋 市民の 1 人として妥協点というとあれだが落としどころを見いだすことが必要
市民の意見も揺れている どちらのこともある
現代の中で復元 現代の目線・技術を駆使して将来に対してある意味では映して復元
バリアフリー1/0 の対立ではなく妥協を
この会議の位置づけ しっかりなかった
結論を得る形ではないと伺っている
いろんな目線から提示して市の方針を打ち出す
構成員の役割は大きい

片岡：天守閣 歴史的に限りなく忠実に 大前提
一つあるわけだが、バリアフリーは独立しているものではない
両方 理想を求めていくのが私たちの役割
今後議論の中で木造復元は木造復元、バリアフリーはバリアフリーではなく、
双方一体となった議論をすべき
いろんな専門な方が意見 もっともよい方法を

川地：建築生産・建築避難

10 年前から木造にしないといけない 研究してきた
より史実に忠実な復元 阻害してはいけない
建築基準法 3 条除外にはなるが、人命に関わることは内容を確保しないと
1.25 倍確保できるか？
避難 最低基準以上にしないといけない
建築計画的にもそう
避難を考えると、常用のエレベーター 地震・火災は使えなくなる
避難につかっているいろんな事故が起こっている
エレベーターは地震・火災があったら避難階に止まる
ユニバーサルデザインという発想からしても老若男女 体験してもらうのは当然
エレベーターが使えない それに代わる何らかの装置 ある
名古屋城階段 姫路城とはちがって住まいと同じ 45 度
1 段 勾配がきつい 48 度 50 度は超えていない
階段昇降車いす 設備がある 使えると思う
最初の一段、最後の一段 人的サポートで介助者
2 年前 名古屋城入場者調査
1 日 5300 人 27 人歩行困難者がいた
1/3 は車いす 5000 人のうち 9 人 ほとんど介助の方がついていた
1 人ではいっしょらなかった

仮にエレベーターをつけるとして、4人乗りエレベーター 梁を削ったら
これではだめ 80センチ×1メートル 車いすぎりぎり
介助者つき 介助者乗れない
最低限 95センチ×150センチ そういうサイズでないといけない
「史実に忠実な復元」スプリンクラー、消火栓・照明器具
形は変えていない
人命に安心安全
エレベーターはどうなんだ 柱・梁絶たずに 床だけ抜いて 撤去できる
可能になるならばそれも可能
検討途中 一部構造を手を付ける ちょっとどうなのか
何らかの形で 「エレベーターをつけないからご遠慮願います」 あってはならない
階段昇降機 対応可能

小松：環境工学

建築本体、建築設備
・お城の建築そのもの
・昇降設備 エレベーターを付けることで補助
明かり 照明
防災 消防
雷 設置
否定する必要はない
お城そのものは数百年寿命
設備 数十年の寿命 取り外し
100年後の昇降設備がエレベーターなのか？

西形：地盤工学 石垣関連

天守の復元 石垣がどの程度安全か
災害時 頭に浮かぶ
その ことに関して、川地先生もお話があった エレベーターは機能しない
災害のことを考えれば、テンポラリーの装置 完備することは絶対必要
常時 一般的なとき どの程度十分対応できるか
これからも検討する必要がある 中途半端はだめ
どっちつかずはだめ
バリアフリーならとる 11人乗り
常時もソフト対応 テンポラリーの設備
これでどの程度対応できるか

十分とは言えないがそれなりの対応が可能であれば

エレベーター ソフトの対応 考慮が必要

常時のソフト対応可能か

三浦：神社・お城 建築の歴史

史実に忠実かどうか注目する分野

エレベーター設置 必要である 部会で発言したことがある

バリアフリーではなく、天守の中で急 病人 緊急搬出

名古屋城 大天守地下まで降りて、きょう台、小天守 長大なルート

ずっといつてきた

技術的な問題 部会で議論 実現できない 今のところなっているのではないか

緊急搬送 別の発想

緊急避難 災害時はエレベーター使えない

大災害 速やかに外に出るには、史実に忠実な復元 避難路では人的損失が出る可能性

天守 1 階から外にでる階段が必要ではないか

総合的に考える必要

避難階段 直接出ることを検討せざるを得ない

大天守 台座の西側 石垣切りさいた場所

もう 1 個出口を作ろうとしたのではないか？

火災等において緊急避難 直接でないといけない

計画倒れ ふさいだ跡ではないか

バリアフリーと一緒に考えて欲しい

複雑なことを議論しないと

史実に忠実に＝100%ではない

史実よりも利便性・安全性・公共性 それぞれの場所で検討しないと行けない

守らないと行けない 木造の骨組み

天守の外 重要なところ 見せないと行けない

そうではないところ 見えないところ 壁の中など 史実に忠実である必要はない

不便・安全性が悪いものを作るのはよくない

しっかりと議論しないと行けない

複雑 いろんなところ 総合的に考える必要

磯部：名古屋市 健康福祉局 福祉座長

そこで議論ができればよかったが、情報がなかった

個人的な意見

福祉部長 福祉のまちづくり

一番大事なこと 「中部空港方式」話題

2005 年開港 2000 年頃から障害者とともに設計段階から議論

メーカーとも議論

高い評判 「中部国際空港のユニバーサルデザイン」冊子 すごいね

その流れは続いている

愛・地球博 そのメンバーでやっている

利用者あつての建物 使えないのは恥

設計 利用者がどう使うのか

当事者 国連権利条約 我々のことを我々抜きで決めるな

いいものができた

名古屋城 その方向性を

「できないから我慢しろ」ではなく、前提条件から直せ

押しつけるのは技術者の恥

福祉の世界 史実は暗い歴史

もの 作った時代背景 恐怖感 使ってもらいたくない

史実を参考

いいものを使っていく ハッピー Win-Win に

史実を参考に

VR でよいのなら作らなくてよい それでハッピー

VRの中で史実に忠実に

名古屋市民 昭和 34 年子どもの時代 名古屋の誇り

外観 中にあるのは展示もの どこでもできる 中でも外でも

一番上にのぼりたい 高いビルも多くある

ここで議論しているのが実用的な名古屋城なのか、工芸品なのか

史実に忠実なら模型でよい

高橋：建築の立場 ユニバーサルデザイン研究

城郭建築 好き 全国 130 城 アクセシビリティ調査

今の状況 世界からたくさんの方 高齢化

多様な方が利用 文化財保護法

社会的な公平性 ぜひ記憶にとどめてほしい

これからの文化財を歴史の中でどう作っていくのか

今ある人 ずっと後世の人がどう評価するか

名古屋城に登った 再建 素晴らしいもの

時代 的な背景 どこまでとらえているか

建築の世界 パリエッフェル塔 ポンピドゥセンター 猛反対

賛否両論 その後の歴史を見ると象徴的なシンボル
代表的なものになっている
今の時代 これから高齢・障害 社会的な公平性 利用・見たい
国も含めて 関東 政府 合同計画
観光地のバリアフリー
是非議論を進めて欲しい
エレベーター 4人乗りではだめ
国のバリアフリー法 11人乗り 最低でも15人乗りに
どこまで実現可能か 現代の最も進んでいる技術
助けあうことは必要
市民全体で後世に残るような木造復元

渡辺：リハビリテーション工学

障害があっても自分らしい生活を実現
観光資源、安全対策
バリアフリーだけを取り上げ て議論するのは違う
観光資源、安全対策 安全・楽しめる
対象者 障害者・高齢者だけは違う
アクセシビリティ アクセシブルな環境
エレベーター付ける・付けない 合理的な配慮ではなく基礎的環境整備
デフォルトでエレベーター付いている、代わる手すり
特定のかたのサービスになっている
教育視点 地域の小学生 お城の見学 上まで行けない子ども どう対処するか
そういった視点からも必要
エレベーター 私はもちろん付けた方がよい
電動車いす 地震が起きると避難難民
健常者は階段・シューター
当事者参加無しには考えられない
いろんな手段が必要
進んだ議論 2022年 オリンピック・パラリンピック終わっている
世の中の視点 単にバリアがない アクセシビリティではない
活動できるように
いろんな意見を出し合って決める過程が重要
納得できる歴史的建造物
何回も城に行った

佐野：機械工学 装着型機械 歩きやすくなった

技術はそういう人の意見をどの程度くみ取れるか

あらゆる方 多様なかた 要望の中で優先順位 エレベーターを含めた安全に

昇降・移動 それを通じて体験したいことがあるのではないか

お仲間 景色を共有されたいのではないか

最上階 できたての木のおい 窓 風を感じる

エレベーターで上がれないとだめならそうしないと

VR その日の天候 分身で動いていく 共有できるか

最優先は障害のある方 要望をどうサポートするか

詳細を聞いていくと対応可能 それがいくつかの技術で解決できるのではないか

もう1点 完成された技術 建ったものが何十年

将来技術 実現できそうなもの 議論が活発化するのではないか

山田：ご意見が出尽くしている

枠組み 技術 整理したい

多くの方 いざというときにどうするか

通常使われているとき

通常時・避難時 技術は分けるべき

元産総研にいた 安全 エレベーター 回転エレベーター、シンドラー

二度と起こさないためにはどうすればよいか

避難時 新しい技術を入れるべきではない 使い古されたもの 安全確保

それがうまくいかなかったらだめ ソフト 常識的な技術を使う必要がある

レジリエンス こう想定しているが、想定外 「きっこう動いてくれるはずだ」 ない

通常時 もう少し技術屋 グッドエンジニアリングプラクティス

VR、段差階段昇降機 新しく改善して

非常時に使うのではない

狭い空間 建築基準法には入っているが、人数対応していない

避難時 エレベーターしか回答がない

外か中か 僕は外に付けるしかない 階段を付ける

皆さんでどう判断するか

中に付けるのなら、文化庁との戦い 史実の復元にどう影響するのか

我々が積極的に主張 技術屋がいう

NEDO 外郭団体 技術開発 新エネルギー産業総合開発機構

よりそいロボット レール ワイヤーつり上げて月の上を歩いているよう

階段を上るとき そういうもの

段差解消機 技術 は発達している 建築基準法は守る

新しい技術 建築基準法にない 基準もない

足をすくわれる可能性も

エレベーター J I Sがある

避難時 パスを作る

もう1点 市民・障害者 どうするか

社会技術 技術とそれ以外ではなく、市民参加型のテクノロジーアセスメント

新しいテクノロジー 反発がある

どういうところに結論を出すか P T A

スキームがある 実践もある

コンセンサス会議など シティズンワークショップ

非専門家と専門家 溝をどう埋めるか

社会の皆さん含めて取り組んでいる

ボーディングカンファレンス エレベーター中か外か

その中で代表的な人 技術者 第三者も

実際にはやられている

細かい話 ロード マップを作る

いろんなところ 一番聞く ベクトルをそろえる 協議 ロードマップは必要

技術が細かくなると必要

堀越：まとめるのではなく、市がどう判断するか

「史実に忠実に復元」「バリアフリー」ばらばらに取り扱うのではない

非常時、緊急時、通常時 扱い

過去排除した歴史 技術も発展する 設備も

技術の展開

新しい技術と確実な技術

史実に忠実→史実に参考

まったくすべてそのままではない

必要なものは何か

エレベーターをどう考えるのか 11人乗りは最低必要 階段

市民を含めた参加が必要

バリアフリー ユニバーサルデザインを超えたこと

言い残したことがある

磯部：中部空港

試作品・モックアップ

階段 模型 作ってどうやって使うのか 試してみればよい 作ればよい

どうしてやらなかったのか
机上の空論では進まない

渡辺：以前階段昇降機 通常時は使えない
車いすから移動ができない
高齢者 要支援 1 以上 要介護 1, 2
高齢者でも使えない人も
介護者がいても使えない 通常時の議論にならない

高橋：史実は重要
歴史をこれから作っていく 姫路城とは違う
史実 権力者によって変わってくる
見え方 どこまで許容できるか
現在のアクセシビリティより大幅に後退するのはあってはならないのは
現在生きている私たちの要望

堀越：モックアップ 問題に向き合う
どなたでも

近藤：私としてもエレベーターが必要 ではないか 意見
名古屋市の目玉 様々な人訪れる
個人的に来る人もいれば、家族、仲間、学校、友達
もし考えて欲しい 大切な人がエレベーターが必要ならどうしたほうがよいか
心に留めて考えて欲しい
非常に大きな事業 やはり全ての人を第一に
プライベートで作る、楽しむのなら誰も言わない
様々な人の人権を守ろう 行政が無視して突き進むのはだめ

斎藤：ありがとう
どんな方法で参加するのか教えてもらわなかった
今後 今日は第 1 回目 5 月中に決める？
考え方で違う 当事者参加
5 月に決着 どうするのか

西野所長：これは継続して議論
エレベーター 昇降については名古屋市として受け止めて 5 月中に結論を出す

斎藤：市役所の中で決めるのか

西野所長：そのように考えている

堀越：今日の話 意見を出す 市に聞く
市がどう判断するか
会議自身は続ける

山田：今の話 違うが、
最初から離反の関係 必要以上にバイヤスがかかる
情報の公開はきちんとして 税金の問題、障害者問題
全部は出さない 極力技術論は出せるものは出す
テクノロジー 享受する
議論に入る 平行して考えるべき

堀越：市の方に期待したい 今日議論を踏まえて考えて
本日はありがとう

西野所長：ありがとう

河村市長：貴重な意見をありがとう
もうすぐ70 足も悪くなる
希望とすると、400年前 そういうところにあがりたい
エレベーターにあがる
博物館 にあがるのならなんだ
階段 簡単にできる 実測図にかいてある
エレベーターを付けない議論 技術関係お願い どういう方法
徹底的にやっていく
名古屋の宝 世界の宝を作りたい
1000年後に作りたい

西野所長：ありがとう

